

## 令和6年度 第9回 学校関係者評価委員会 議事録

期 日：令和7年3月13日（木） 18：00～ 校長室にて

出席者：塩田 顕一郎（学校長）、柴田 徹（事務局長）、冨田 由佳（教頭）、福元 聡（教頭）、  
橋本 孝一（事務長）

評価委員：委員長 塚本 光晴（元 後援会会長） 委員 子出藤 税（後援会長）  
委員 井手 庸文（第八町内自治会長）  
委員 武満 博美（元熊本中央警察署・スクールサポーター）

### 1・議題 本年度の学校評価について

### 2. 議事内容

【学校長】：配布の「学校評価」はあくまで自己評価である。読んでいただくと分かるが量が膨大なので、始めに私からポイントとなる点を絞ってお伝えする。

#### ・学校経営

##### -基本的生活習慣の確立

【学校長】：以前に比べると遅刻や欠席の数は大幅に減っており、いわゆる不良行為で指導が必要な生徒はほとんどいない。時代の変化というべきか、代わりにメンタルが弱いとか人間関係を作れない生徒が増えているようだ。集団作りなどが必要だと考えている。

【評価委員長】：中央高校に携わって14年、当時からするとずいぶんと変わったと感じる。派手さがなく慎ましくなった。精神面や自己主張が弱くなったと思うが、これは中央高校に限ったことではない。そうした中で以前までの教育環境ではズレが生じると思う。今年度から塩田校長となり、高校の方針や考え方に変化があって、より今の時代にマッチした形になってきていると感じる。

##### -学校からの情報発信

【学校長】：学校HPが古いので刷新する準備中。従来の常識にとらわれず多数いる表彰者や検定等合格者等の情報を発信したい。沿革など誰も見ていない。誰も読まないものを作っても仕方がない。

【評価委員長】：今のHPは12年前にできあがって当時はいいHPができた褒められたが、確かに当時からあまり変わっていない印象であり、情報を伝えていくことが良い。今はinstagramやTicTokなど若い人向けの情報発信が必要。学校では難しいかもしれないので新しいHPに期待したい。

【後援会長】：情報としてHPのブログ等は有難い。学校での出来事や校長先生の考え方がよくわかる。行きたい学校を考えている親にも有難い。

#### ・学力向上

##### -授業に対する満足度

【学校長】：わかる授業をするのは当たり前で、評価はAだがまだダメだと思っている。youtubeなどに分かりやすい説明動画がいくらでもある。学校に来て授業を受ける、面白くすることが必要だと思う。検定の取得に関しては増えており、今日も合格の報告があってAでいいと思う。

【後援会長】：生徒募集の話もあったが、中央高校は先生たちをスキルアップさせていて、ものすごくいいなあと感じている。

#### ・進路指導

##### -キャリア教育、進路指導

【学校長】：大学全入時代、競争がある大学と無い大学。今の売り手市場から2030年問題の就職を考えていかないといけない。進学と就職だけではない進路指導を考えていかないといけない。

#### ・生徒指導

##### -交通ルールの徹底

【学校長】：ヘルメットの件は後援会からも提案が出ているが、まだ検討中。

【各々の意見まとめ】県立高校はヘルメットが義務となるが、まだ大いに検討の余地がある。過去にも補助などもあり推進もしたが、県警の取り組みもうまくいかなかった。シートベルトのように国の責任で法律など徹底しないと根付くには難しいか。

##### -校則に対する規律意識

【学校長】：文科省が令和4年度に生徒指導提要を出した。20年ぶりに変わった、一方的指導ではなくそれぞれの意見を聞いてやっていく。ブラック校則と言われるが中学校は8割は校則を公開している。高校はまだだがそうになっていく。校則を守らせることは大事だが、校則崩壊の時代に入り「何のために守るのか」を生徒が考えるとか「自分たちが変えていく」ことが必要。ただ生徒総会をしても生徒からも多様な意見があり時間はかかりそう。私たちもこれまでのように「言ったから従え」というふうには考えていない。

【後援会長】：親戚がドイツの学校にいて教師はタトゥーで金髪だがレベルが高い。日本の学校は軍隊的だと持っていたが、中央高校は子供の思い出に残るようないろんなことをしている。この前卒業の時、自分の娘が「中央高校でよかった」と言った一言で「ここで良かった」と思った。それが何より大事。学校の歴史も大切にしつつ今後の変化に対応できる新たな取り組みも必要かもと考えている。

##### -いじめの実態把握-早期発見

【学校長】：校長会でも管理職の研修でも「いじめ」について繰り返し県立高校での話があるが、今年度は細かいトラブルはあったかと思うが、大きなものは無かったように思う。B評価となっている。

【後援会長】：ある県立高校でのいじめで自殺が1件、いじめは大なり小なりどこでもあると思うが、それを聞き出せるかどうか、聞いたときどういう対応ができるかどうか、寄り添えるかが大事。

【スクールサポーター】：今年度の1年生は他校では転退学率が高かったと聞かすが、中央は？

→【回答】休学含めて現在6名(2%)

いじめについては小中学校では第三者委員会が立ち上げられた。これまでの事例で時間が経過して詳細がわかるため結果として「学校が何もしてくれなかった」となる状況があった。重大事案は事件化するようになると言われるが証拠がないと上げられない。事情の聴き取りの際は複数人で主語

述語を明確にすることが大事。ほかにも「盗撮」や「闇バイト」など学校だけの問題ではない問題がある。昨年の2～11月で闇バイトの県内のべ逮捕者は100名。熊本でも昨年11月に高校生が逮捕され、他にもある。身近にあり「薬物」もしかり。

・ 広報

生徒募集活動

【学校長】：良く活動してもらっており、次年度に向けた生徒募集もほぼ目標通りである。ただ、これからのコア、「中央にしかない魅力」を考えてやってきたが、次を考えていけないと思っている。企業でいうイノベーション。また、HPもそうだがメディア戦略も重要だと思う。

・ 図書館教育

【学校長】：今年度途中から新たに図書館司書を採用したことで、図書館の環境は少しずつ充実してきている。

・ 人権教育の推進

【学校長】：私たちが思っている以上に大切。学校と世間の意識のズレが大きい、それを縮めていく必要がある。ジェンダーの問題や制服や頭髪など今までの学校の常識では通用しない例が出てくる。みんな同じとはいかない事例が出てくる、学校が絶対ではない時代になると思うので、意識を変えていけないといけないと考えている。

・ 学校保健

【学校長】：「保健室にこない職員・生徒のケア」が課題になっているが、そんなに悩んでいる職員がいるとは知らなかった。これは促進していこうと思っている。

・ 今後の課題

【学校長】：今後の課題としては、今後5～10年で中学生が1600名減、現実問題としてそこまで生き残れるのか。意識改革が必要で2つ。①このままの状態がずっと続くのが当たり前ではない。②「何のために学校はあるのか」を考えていく

【町内会長】：生徒減の話があったが高校も特色ある科を養成しないといけない。看護科の歴史もあるが。税理士をしている関係上、そうした方面の生徒をインターンシップで受け入れているが、将来のことや何をしたいかなどをしっかりとおっしゃる。昔とは違いパソコンなどを使って教えている。スキルアップしてほしいと思うし、会計士とか目指すならCPAなど繋がりががあるので紹介できる。若い人たちがしっかりしている分、先生たちもスキルアップしていかないといけない。

【評価委員長】：アンケートの方に気になるコメントがいくつかあるが、これに対しては対応しているのか。

【学校長】：この資料自体まとめたばかりだが、学年主任には公開していく予定だし、何もしないつもりではない。

【評価委員長】生徒たちは高校に何らかの夢・目標をもって入学してくる。それを導ける環境を作ることが大事。勉強もそうだがビジョンを持たせる教育環境づくり。

・ 連絡

【事務局長】：年1回の評価委員会に加えて来年度は授業を見てもらう計画を立てて案内するのでご協力願いたい。

学校長	事務局長	教頭	教頭	事務長
				

以上の報告を受け、確認いたしました。

令和 7年 3月26日

設置者名 学校法人 加寿美学園  
理事長 竹下

